

行動人

これまで紹介した行動人総数：

30000人

ホームページで紹介した「行動人」が
30,000人を超えました



私たちのまわりには、学びを生かした行動で地域や周囲の人を元気にしている人がいます。また、学びをきっかけに新たなチャレンジをする人もいます。そういった「行動人」を、今後もホームページを通じて紹介していきます。

<http://lifelong.akita-kenmin.jp/koudoubito/index.php>

子どもを中心に据えた 学校・家庭・地域の連携のために！！

平成25年度学校・家庭・地域連携総合推進事業 全県交流会を開催 平成25年11月27日(水)

この交流会は、地域全体で子どもを育む機運の醸成のため、事業関係者が一堂に会し、講演や協議を通して、全県的なネットワークを形成することを目的にしています。昨年に引き続き2回目の開催となった今回、県生涯学習センターには、市町村教育委員会職員や地域ボランティアなど約70名が集まりました。

○基調講演

講師 弘前大学生涯学習教育研究センター 深作 拓郎 氏

- ・地域の中での子どもの役割がなくなり、生活時間の変化など、子どもをめぐる世界は変容してきた。
- ・地域住民が言葉を交わして、感情を共有することが大切である。
- ・地域の大人が子どもに関わることで、人生のお手本(モデル)を示すことができる。
- ・「直接経験」と「人のつながり」が、地域全体を育むことにつながる。
- ・地域で共有できる「子ども観」を形成し、地域全体で見守る必要性がある。

〈事例〉山形県最上町赤倉小学校区子育ち憲章の制定 など



県外事例の紹介も

○グループ協議

テーマ — 私たちができる連携 — 基調講演をもとにしたグループワーク

【参加者の声から】

ボランティアとして、子どもの自尊心を大切にできるような声かけを続けたい。

人手不足を感じている。大学生ボランティアの受け入れが大事だと思う。

多様な家庭環境に対応するため、社会福祉部局との連携も意識していきたい。

直接経験により、ふるさとの良さを発見できる。地域行事を掘り起こし、子どもに伝えていきたい。



様々な立場から情報交換

子どもたちを健やかに育むためには、学校・家庭・地域が協力・連携し、地域ぐるみで子どもを育むことが求められています。参加者は、熱心な情報交換を通して、連携することの大切さを再確認することができました。最後には手作りの名刺を交換し合い、ネットワークづくりにつながる有意義な会となりました。

教職員・市町村教育委員会職員・地域ボランティアが同じ小グループ内で協議→



平成25年度優良PTA文部科学大臣表彰及びPTA活動振興功労者表彰 受賞された皆様、おめでとうございます

○優良PTA文部科学大臣表彰

PTAの健全な育成と発展に資することを目的に、文部科学省が毎年PTA活動に優秀な実績をあげている団体について表彰するものです。

〔被表彰団体〕

- ・秋田県立男鹿海洋高等学校PTA（昭和24年5月設立、会長：吉田 千鶴子）
- ・男鹿市立船川南小学校PTA（昭和50年4月設立、会長：佐藤 孝）
- ・仙北市立桧木内小学校PTA（平成19年4月設立、会長：園部 敬史）

○PTA活動振興功労者表彰

文部科学省が5年ごとに、PTA活動に優秀な実績をあげている個人について表彰するものです。本年度はPTA創立65周年にあたります。

〔被表彰者〕

- ・伊藤 巧一 氏（元 秋田県高等学校PTA連合会会長）
- ・菅原 広二 氏（元 秋田県高等学校PTA連合会会長）
- ・大関 敏寛 氏（秋田県国公立幼稚園PTA連絡協議会会長）
- ・渡辺 正宏 氏（元 秋田県PTA連合会会長）
- ・菅生 努 氏（前 秋田県PTA連合会副会長）
- ・辻原 大策 氏（元 秋田県立大曲養護学校PTA会長）



表敬訪問の様子（教育庁ホール）

展覧会を二つ紹介します

秋田県立近代美術館 企画展「没後80年 平福百穂展」

平成25年11月16日（土）～平成26年2月2日（日）

秋田県角館出身の日本画家・平福百穂は、^{ひらふくひゃくすい}平福百穂は、^{むせいかい}无声会、^{さんごかい}珊瑚会、^{きんれいしゃ}金鈴社など、画家仲間たちと旺盛な創作活動を展開して実力を付け、文部省美術展覧会において活躍しました。受賞を重ね、審査員となり、晩年は東京美術学校の教授に迎えられています。

昭和8年、兄の危篤の報に秋田県横手に駆けつけた百穂は自らも脳梗塞に倒れ、帰らぬ人となりました。それから80年がたちます。しかしながら、長い年月を経てもなお、百穂は秋田を代表する日本画家として周知され、近代日本画壇における高い評価も変わることはありません。

没後80年を記念して、当館が所蔵する平福百穂の名品により、百穂が求めた美の境地を探ります。



「堅田の休憩」（昭和4年）



「菜園」（大正9年）

次回展予告

「開館20年 美術館の眼Ⅶ 10年間の収集記録2004-2013」
平成26年2月7日（金）～4月20日（日）

秋田県立美術館

秋田県立美術館開館記念・秋田魁新報創刊140年記念

レオナルド・
フジタとパリ
1913-1931
藤田嗣治 渡仏100周年記念

平成25年12月7日（土）～平成26年2月2日（日）

2013年は、画家・藤田嗣治がフランスに渡ってからちょうど100年目にあたります。この渡仏100年を記念して、藤田の初期の作品から、パリ画壇の寵児になるまでの、藤田作品をご紹介します。妻「とみ」に宛てたラブレターも初公開！

開催中！